

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

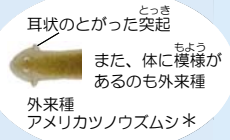


×5

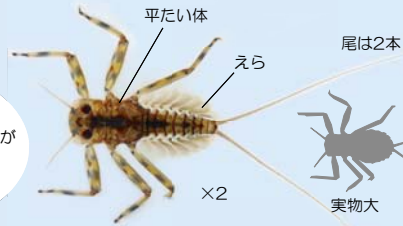
実物大

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



耳状のとがった突起
また、体に模様があるのも外来種
外来種
アメリカツノウズムシ



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



実物大



実物大

カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



×2.5

実物大

アミカ類

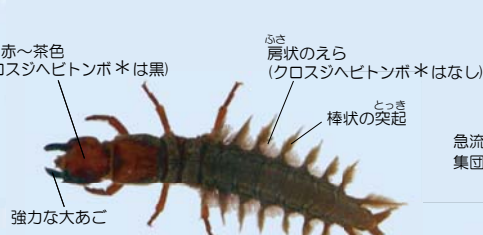
腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



実物大

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である



ヘビトンボ

実物大

流れの速い石の下にひそんでいて、えものおそう

ブコ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



×5

実物大



×3

実物大

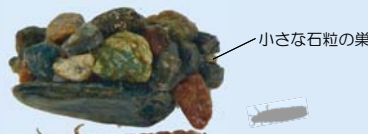


×3

実物大

ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



×3

実物大

ヤマトビケラ類

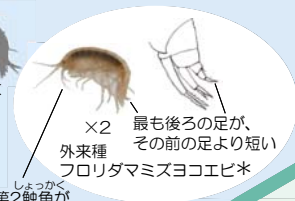
流れの少しゆるやかなところの石面に多い



第2触角が第1触角の1/2以上
第2触角が第1触角の1/2

ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる



最後の足が、その前の足より短い
最後の足が、その前の足より長い



×1.5

タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

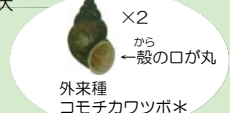
II ややきれいな水



×0.5

カワナ類

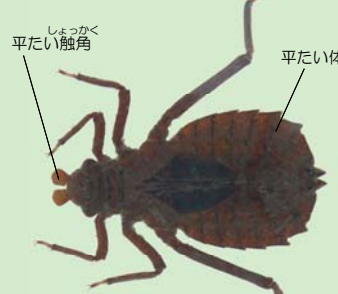
流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツボクは数mmと小型



口の丸
一般の口が丸
コモチカツボク

×2

実物大



×2

コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



×2

ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



×1.5

ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色



×1.5

ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの石面にいる



×3

実物大

コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



×2

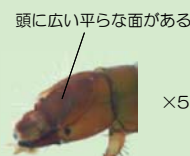
ゲンシボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワナをえさとする



×2.5

実物大



×5

オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

